

2014年3月期 第3四半期決算説明資料

平成26年2月3日

ITホールディングス株式会社

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation

ITホールディングスグループ

(2014年2月3日開催 2014年3月期第3四半期決算説明電話会議 プレゼンテーション要旨)

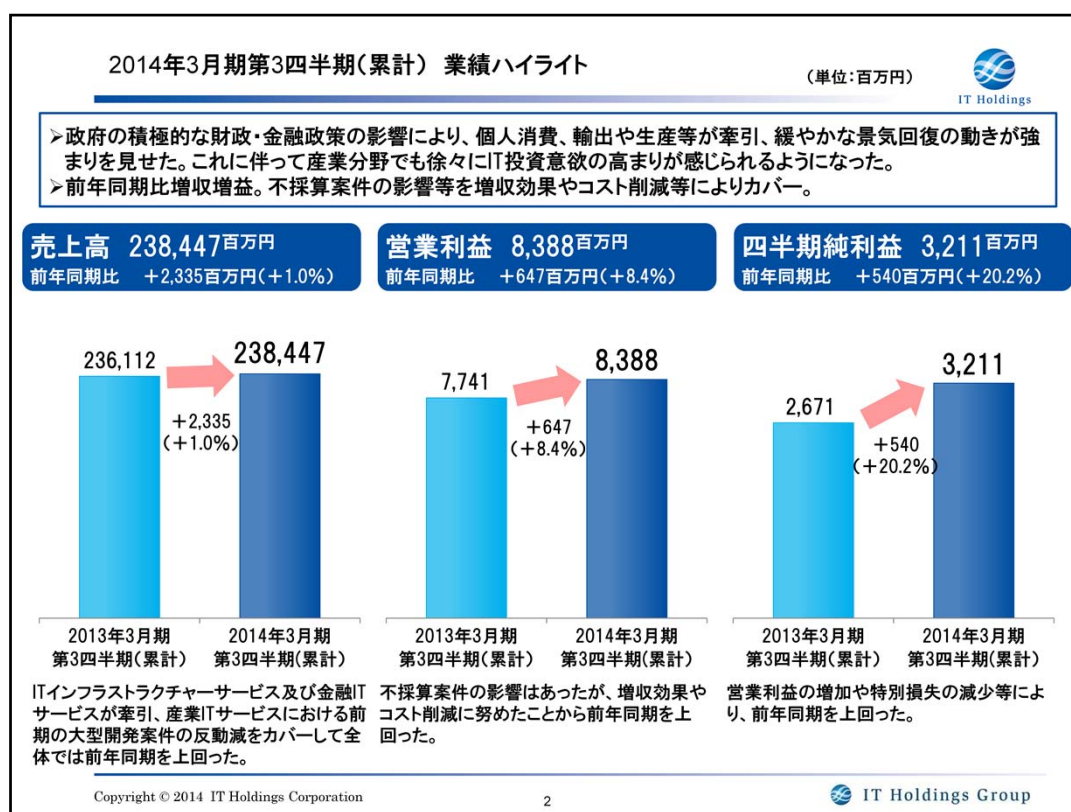
ITホールディングス企画本部長の柳井です。よろしくお願いいたします。

2014年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2014年3月期 業績見通し

参考資料

本日15:30に発表しました第3四半期決算の内容と通期業績見通しにつきまして、決算説明資料を使って説明させていただきます。



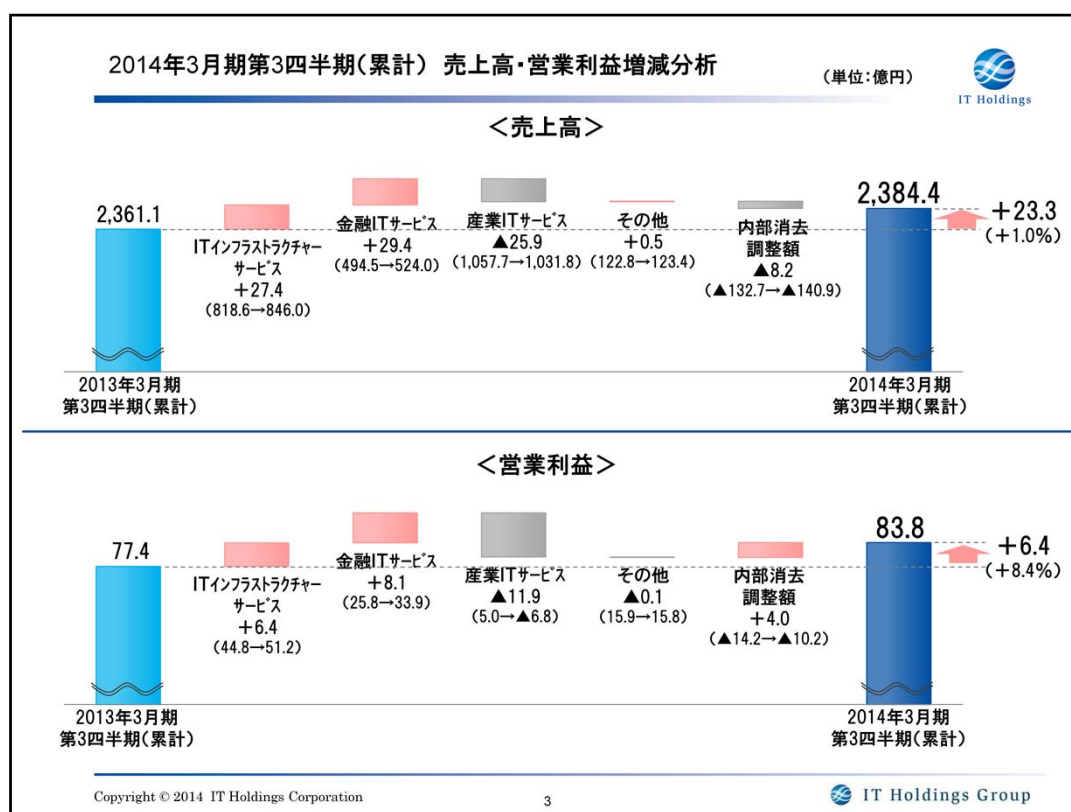
まず、第3四半期についてです。

事業環境としましては、下期に入ってほぼ全ての業種においてIT投資意欲の高まりを感じられるようになる等、景気回復の動きが強まるにつれて、事業環境は改善傾向にあると考えています。

こうした中、ITホールディングスグループの第3四半期累計の業績は前年同期比増収増益となりました。

売上高は前期にあった大型開発案件の反動減44億円を吸収する力強さを見せて1.0%増加し、営業利益は不採算案件の影響を増収効果やコスト削減等でカバーし、8.4%増加しました。また、四半期純利益も20.2%増加しました。

売上高はやや強めにみていた見通しには及びませんでした、営業利益は少し良い方に着地しました。



セグメント別では、産業ITサービスが大型開発案件の反動減や不採算案件の発生で前年同期比減収減益となりましたが、ITインフラストラクチャーサービスと金融ITサービスが好調に牽引し全体では増収増益となりました。

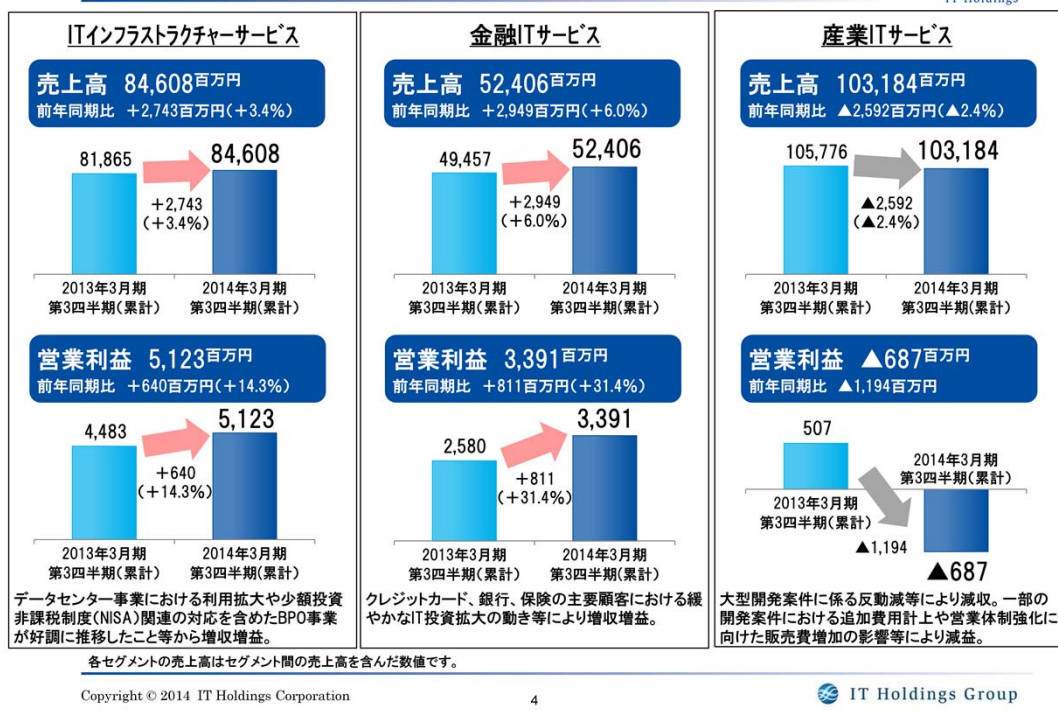
顧客業種別の売上高を5頁に記載していますが、金融系業種はすべて増加しており、また、産業・公共分野も大型開発案件の反動減のあったプロセス系製造とサービスを除いて増加しています。大型案件の寄与があったわけではなく、事業環境の好転に応じて全体的に好調だったということがわかりいただけるかと存じます。

なお、後ろの14頁に第3四半期の状況を記載しています。詳細は後ほどご覧いただければと思いますが、全体では増収増益であり、上期に前年同期比マイナスだった産業ITサービスの売上高がプラスに転じ、全ての主要セグメントで増収となりました。

営業利益が増加した一方で四半期純利益が減少した点について補足いたしますと、昨年11月に発表したリース事業撤退に係る特別損失を計上したほか、第4四半期に予定していた特別損失の前倒し計上や税効果の関係が影響したことによるものです。

2014年3月期第3四半期(累計) 主要セグメント別損益状況

(単位:百万円)



Copyright © 2014 IT Holdings Corporation

4

IT Holdings Group

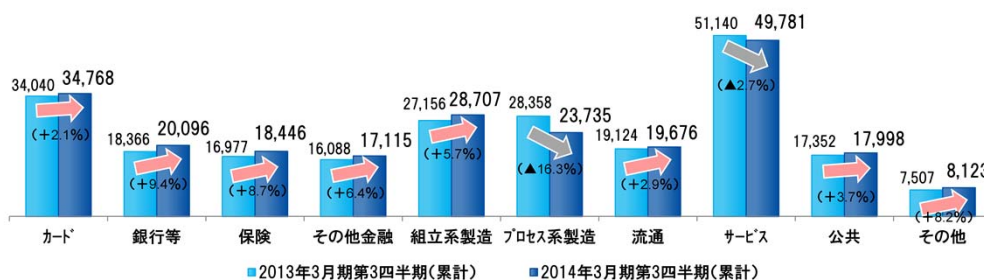
今回決算のポイントの一つである不採算案件ですが、第3四半期に残念ながら17億円弱が発生し、第3四半期累計では前年同期を約8億円上回る約35億円となりました。

第1四半期に約7億円の追加コストが発生した公共系の案件は順調に進捗したのですが、新たに比較的金額規模の大きい案件として産業系で約5億円と2億円台の2件、金融系で2億円台の1件が発生しました。これらの案件は来期まで続きますが、今後見込まれる追加費用の引当てを行っており、今後はこの範囲でコントロールしていくようプロジェクトマネジメントを徹底していく所存です。

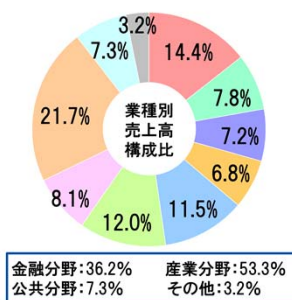
当期は不採算案件の減少を目標の一つとしていましたが、なかなか抑制が進まない点は課題として認識しています。あらためて、入り口段階でのチェックやプロジェクトマネジメントを強化すべく、体制変更や人材育成も含めて、発生防止のための仕組みづくりを構築していこうと考えています。

<参考>2014年3月期第3四半期(累計) 業種別売上高

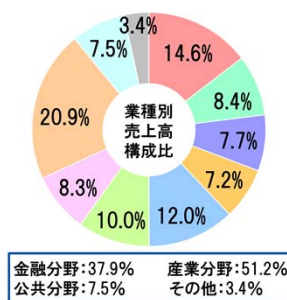
(単位:百万円)

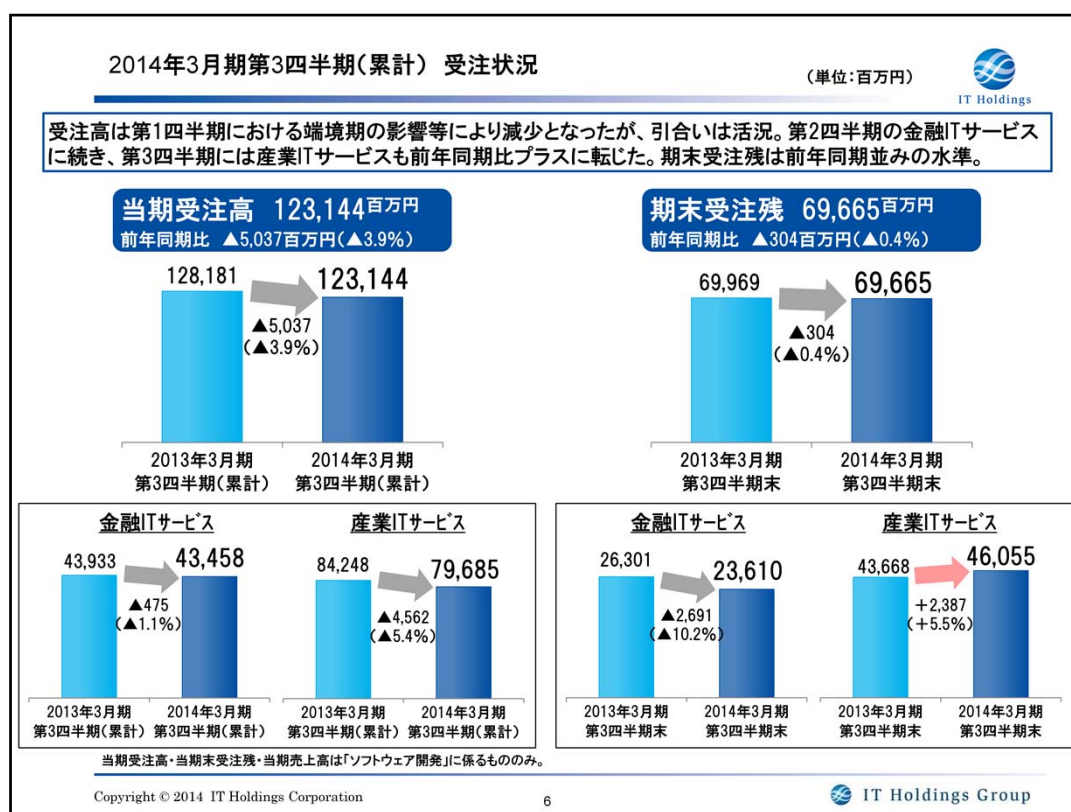


<2013年3月期第3四半期(累計)>



<2014年3月期第3四半期(累計)>





次に受注状況です。

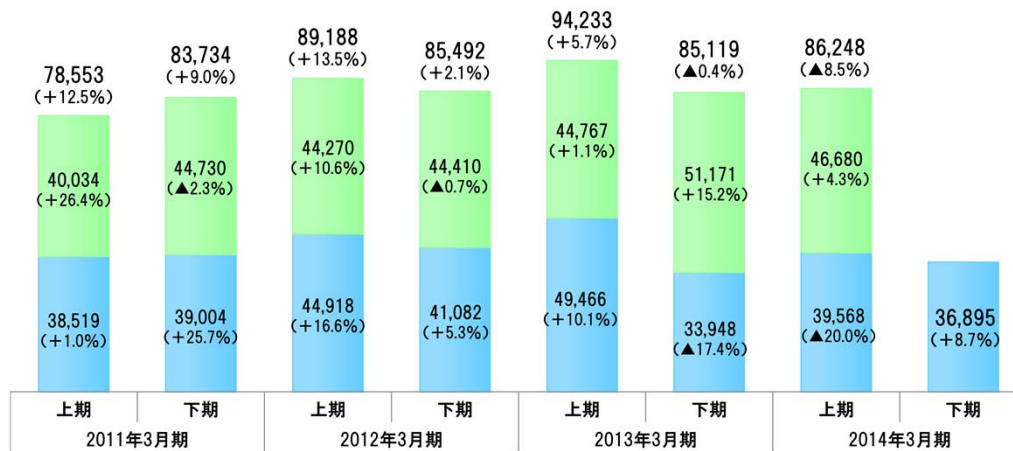
受注高は、第1四半期における端境期の影響等による減少を受けて、第3四半期累計では約4%の減少となりましたが、第2四半期・第3四半期とも前年同期比プラスで推移し、減少幅は縮小してきています。

この結果、第3四半期の期末受注残は前年同期並みの水準となりました。

第3四半期の受注高は、前年同期に比べて8.7%増加したとはいえ、一部で案件の延伸や失注の影響もあり、見込んでいたよりも低い水準となりました。368億円は、他の四半期の受注高と比べても「強い」といえる水準ではありませんが、第2四半期から前年同期比プラスに戻った金融ITサービスに加え、第3四半期には産業ITサービスも前年同期比プラスに転じる等、状況はよくなってきていると考えています。

受注高の推移

(単位:百万円)



■ 上期: 第2四半期、下期: 第4四半期
■ 上期: 第1四半期、下期: 第3四半期

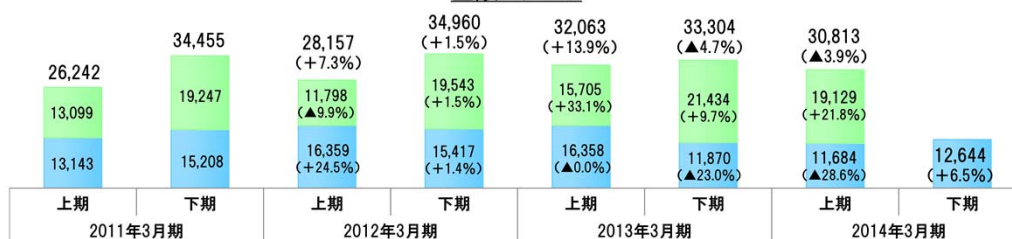
当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率。

受注高の推移

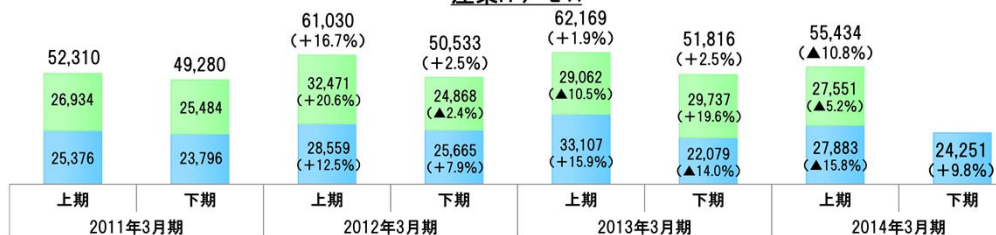
(単位:百万円)



金融ITサービス



産業ITサービス



■ 上期:第2四半期、下期:第4四半期

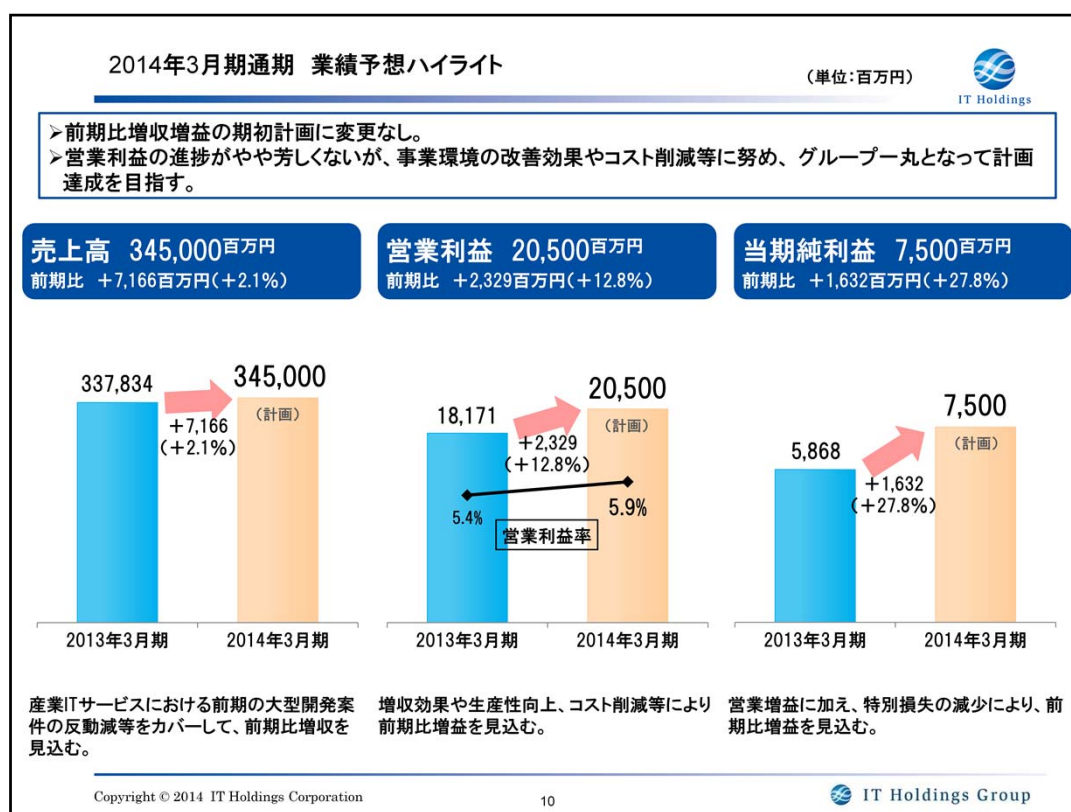
■ 上期:第1四半期、下期:第3四半期

当期受注高は「ソフトウェア開発」に係るもののみ。カッコ内の数値は前年同期比増減率(但し、セグメント別受注高は2011年3月期より開示)。

2014年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2014年3月期 業績見通し

参考資料



最後に、通期業績見通しについてですが、売上高3,450億円、営業利益205億円、当期純利益 75億円の期初計画に変更はありません。

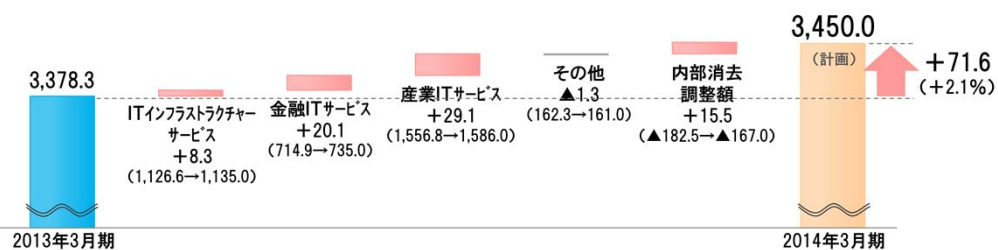
売上高はここまで概ね計画に沿って推移していると考えています。営業利益はやや進捗が芳しくありませんが、事業環境の改善効果やコスト削減等に努めることで、グループ一丸となって計画達成を目指してまいります。

2014年3月期通期 売上高・営業利益増減分析(予想)

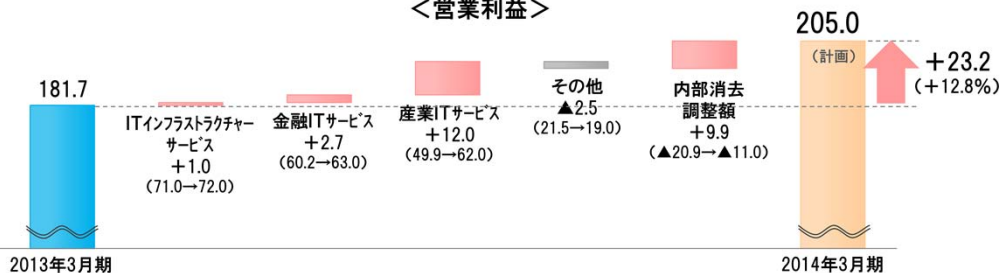
(単位:億円)



<売上高>

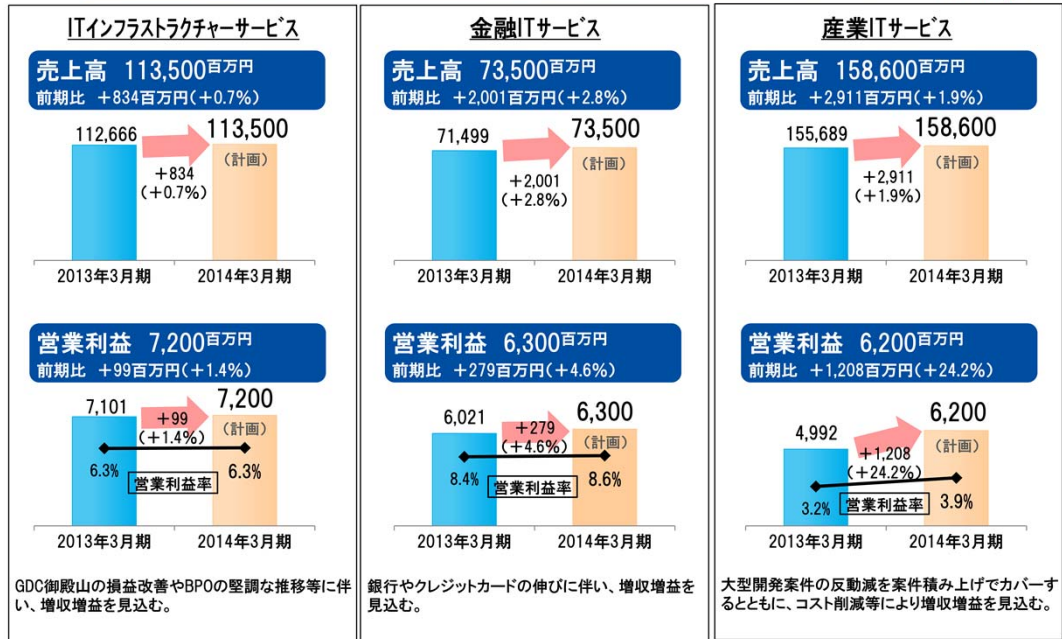


<営業利益>



2014年3月期通期 主要セグメント別損益状況(予想)

(単位:百万円)



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

Copyright © 2014 IT Holdings Corporation

12

IT Holdings Group

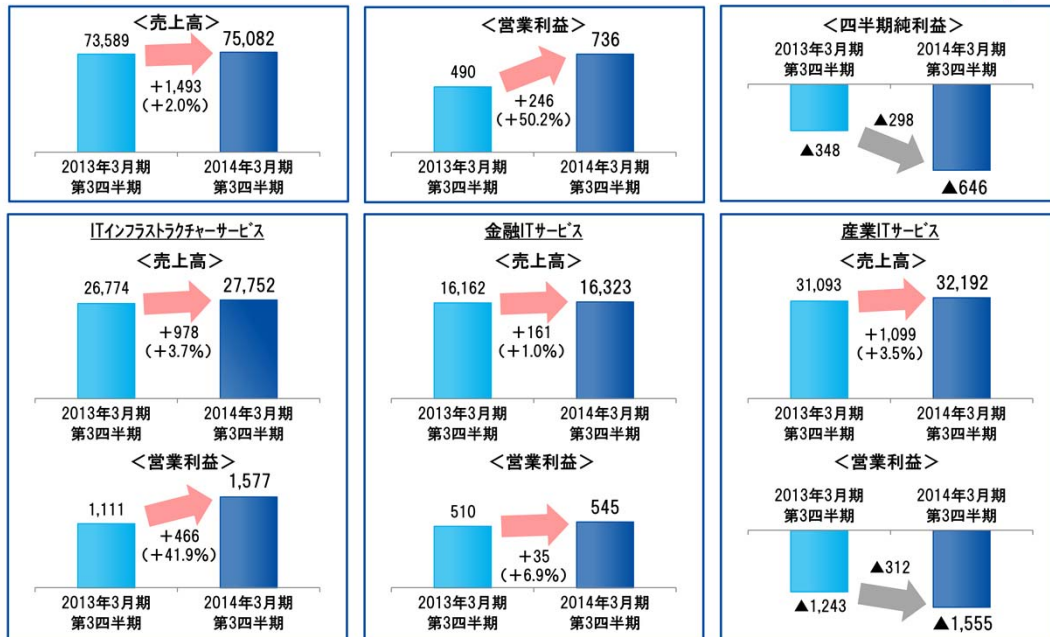
2014年3月期第3四半期(累計) 業績概要

2014年3月期 業績見通し

参考資料

2014年3月期第3四半期 業績ハイライト・主要セグメント別損益

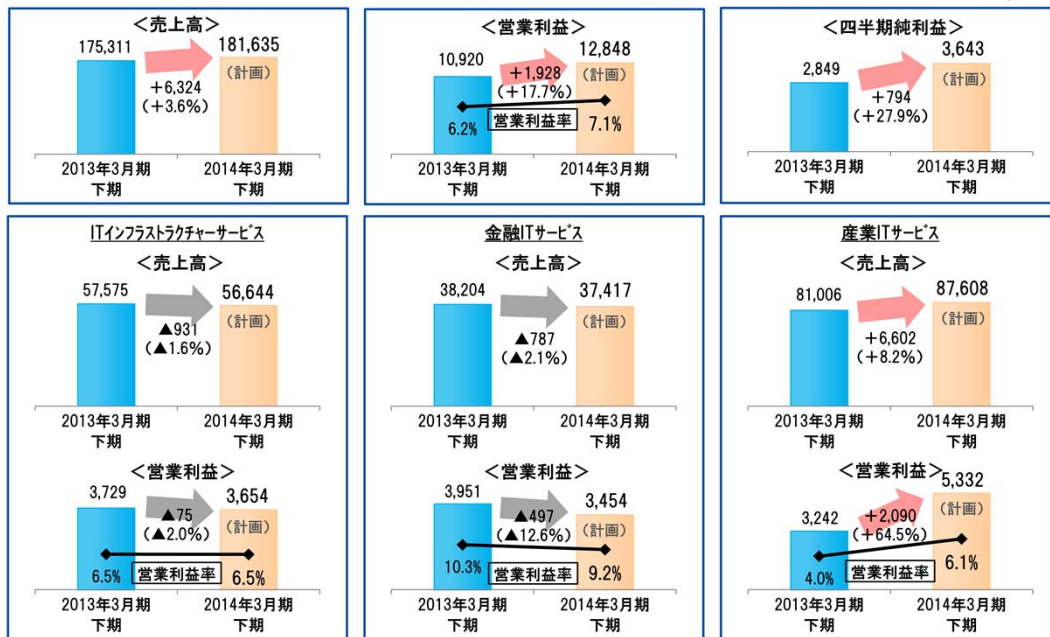
(単位:百万円)



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。

2014年3月期下期 業績ハイライト・主要セグメント別損益(予想)

(単位:百万円)



各セグメントの売上高はセグメント間の売上高を含んだ数値です。下期計画は通期計画から上期実績を控除したものです。

2014年3月期第3四半期 ITHDグループ プレスリリース/お知らせ一覧



発表日付	タイトル
2013/10/1	「ユビキタスプラットフォーム」を整備する専門組織を設置(インテック)
2013/10/7	ビジネスクラウドサービス「EINS/SPS SelfPortal」、お客さまの社内ネットワークとクラウドを安全に直接接続できる新機能を提供開始(インテック)
2013/10/15	アグレックスとFPT Software、ベトナムでグローバルBPO事業を開始(アグレックス)
2013/10/21	インテック武漢が創立10周年(インテック)
2013/10/21	TISとSAPジャパン、金融業界におけるビジネスで協業(TIS)
2013/10/21	GDC御殿山がクレジットカード業界の国際的なデータセキュリティ基準「PCIDSS ver2.0」完全準拠証明を取得(TIS)
2013/10/22	完全Web-ERP「GRANDIT」人事考課機能を強化 人事考課支援システム「P-TH」と連携(AJS)
2013/10/24	TIS、ジェネツの自治体向け新水道料金徴収システム構築を支援(TIS)
2013/10/24	日本薬剤師会とネクスウェイ、『日薬情報おまとめサービス』提供開始(ネクスウェイ)
2013/10/28	7社共同で、「金融機関向け『Amazon Web Services』対応セキュリティファレンス」を改訂し第1.2版を公開(TIS)
2013/10/29	TIS、ベトナム国家大学ホーチミン市校工科大学と提携(TIS)
2013/10/30	創立50年記念事業として、本社ビル21階を一般公開「タワー111展望」(インテック)
2013/11/5	仮想化環境と物理環境を同時に監視・管理するツールMoonWalker ver.3.0をリリース(クラウド・スコープ・テクノロジーズ)
2013/11/5	SRA OSSとTISが共同でPostgreSQLの性能監視が行えるZabbixテンプレート『PostgreSQL monitoring template for Zabbix』をOSSとして公開(TIS)
2013/11/14	インテック、フィデアホールディングスに、情報系システムインフラ「F3(エフキューブ)クラウド プラットフォームサービス」を提供開始(インテック)
2013/11/22	北日本銀行、インテックが提供する地域金融機関向けクラウドサービス型CRM「F3(エフキューブ)クラウド CRMサービス」の採用を決定(インテック)
2013/11/22	NTTソフトウェアとセキュリティソリューションに関する一次代理店契約を締結(TIS)
2013/11/28	TIS、『自律型ハイブリッドクラウドプラットフォーム』の技術開発プロジェクトを開始(TIS)
2013/12/2	ネオアクスとインフォアが中堅規模製造業向けの生産管理ソリューション分野で協業(ネオアクス)
2013/12/6	TIS、「RemoteWorks」の新メニュー「RemoteWorks WOL-BOX」の提供を開始(TIS)
2013/12/11	TIS、国際ブランドプリペイドカード事業のサポートサービス『PrepaidCube+』を提供開始(TIS)
2013/12/16	並列分散ストレージ技術を用いた太平洋横断ライブマイグレーションに成功(インテック)
2013/12/18	TIS、アサヒ飲料のARとGPSを活用したスマートデバイスの営業支援システムを構築(TIS)
2013/12/24	TIS、ジェイアイエヌの働きやすい職場作りを下支えする人事給与・勤怠管理統合システム構築を支援(TIS)
2013/12/25	デジタルガレージ子会社のecontext ASIAとTISが資本業務提携、アジアのEC事業者に向けたソリューション提供を共同で推進(TIS)



IT Holdings

(ご注意事項)

- ・本資料ではITホールディングスを略称名(ITHD)にて記載しています。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、ITHDグループ(ITHDおよびグループ会社)が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・各四半期会計期間(3カ月)の数値は累計期間の差引により算出しています。

ITホールディングスグループ